

臨海部における市バス路線について

1 殿町三丁目地区と東扇島総合物流拠点地区の現状と就業者数の増等

(1) KING SKYFRONT (殿町三丁目地区) 運行路線 川03系統 県営埋立線

① 運行状況

- ・ 殿町三丁目地区は、川03系統県営埋立線を臨港バスと共同運行
運行経路 川崎駅～四谷下町～江川一丁目～(殿町地区)～浮島バスターミナル
運行回数 平日往路復路計160回(市バス80回、臨港バス80回)
- ・ 臨港バスが昨年10月から暫定整備された産業道路駅前広場から2路線を新設
運行回数 平日 殿町地区36回運行、浮島地区97回運行
- ・ 臨港バスがYCATから羽田京急バスと共同運行(平日28回)

② 就業者の動向

- ・ 平成26年度に全日空株式会社等の就業者数が約1,200人増加、平成27年度以降も企業進出が続く

(2) 東扇島総合物流拠点地区 運行路線 川07系統 東扇島西公園前行き

① 運行状況

- ・ 市バスが川05、07系統東扇島循環線を川崎駅から単独運行
運行経路及び運行回数
川05系統 川崎駅～四谷下町～(千鳥町地区)～東扇島東地区 平日往路復路計172回
川07系統 川崎駅～四谷下町～(千鳥町地区)～東扇島西地区 平日往路復路計123回
- ・ 臨港バスがYCATから羽田京急バスと共同運行(平日54回)

② 就業者の動向

- ・ 平成25年2月以降、日本郵便株式会社等の企業進出により段階的に就業者数が1,794人増加

<企業の進出状況>

| | |
|----------|-----------------------------|
| 平成25年2月 | ㈱松岡(106人) |
| 平成25年5月 | 日本郵便(株)(520人)、山手冷蔵(株)(60人) |
| 平成25年7月 | 日本郵便(株)(280人)、ニチレイ(株)(181人) |
| 平成25年10月 | 松岡(株)(44人) |
| 平成26年1月 | 日本郵便(株)(570人) |
| 平成26年2月 | ㈱マルハニチロ物流(33人) |

2 殿町・浮島地区への対応

【対応の考え方】

- 東扇島総合物流拠点地区と殿町三丁目地区の両地区における輸送需要の大幅な増加への対応は、市バスのみでは難しく、民営バスとの連携した対応が必要
- 殿町・浮島地区で臨港バスと共同運行している川03系統県営埋立線の輸送分担割合を見直し、臨港バスに委譲（市バス路線の廃止）することにより、輸送力を確保し、東扇島地区へ充当

(1) 川03系統県営埋立線の委譲については、臨港バスから受諾の回答を得ており、現在、サービス水準の維持等について同社と協議中

- ・ 輸送分担割合の見直し
平成25年5月 市バス：臨港バス 5：5→0：10（*市バス路線の廃止）
- ・ 委譲の時期
平成25年5月予定

(2) 市バスとしては路線の廃止となるため、次の手続きが必要

- ・ 神奈川県生活交通確保対策地域協議会に路線退出の意向報告（平成24年12月）
- ・ その後、関東運輸局に路線廃止の30日前届出（平成25年3月）

3 東扇島総合物流拠点地区への対応

【対応の考え方】

- 臨港バスとの共同運行路線、県営埋立線の輸送分担割合の見直し（市バス路線の廃止）により、輸送力を確保し、川07系統東扇島西公園前行きを増強する。
- 日本郵便株式会社等各企業の東扇島地区への進出の最終段階に向けて、新たな車両購入と運転手の新規採用を行う。

(1) 輸送力の増強計画

平成25年2月から、1年にわたって、日本郵便株式会社等各企業が順次、進出予定のため、就業者数の増に合わせて、3段階のダイヤ改正で対応

- ・ 増加する就業者数約1,800人の約60%が9時の出社時間帯（始発～8：00）に集中すると仮定、その需要に対応する運行本数を、JR川崎駅発から増回により対応
- ・ 朝ラッシュ時間帯（始発～8：00）については、ステップ1（4回）、ステップ2（15回）、ステップ3（8回）の計27回を増回（現行11回）
- ・ 退社時における利用動向に合わせた夕方の運行ダイヤを検討中

○ 平成25年2月～ ステップ1

- ・ 就業者数の増106人、うち朝ラッシュ時間帯のバス利用者数64人
- ・ 水江町線のダイヤ改正（本年7月14日）による輸送力で対応（車両2両）

○ 平成25年5月～ ステップ2

- ・ 就業者数の増1,085人、うち朝ラッシュ時間帯のバス利用者数651人
- ・ 県営埋立線の8両と24年度購入車両の1両、予備車両の1両の活用で対応（車両10両）

○ 平成26年1月～ ステップ3

- ・ 就業者数の増603人、うち朝ラッシュ時間帯のバス利用者数361人
- ・ ステップ2に加えて、車両5両が必要であり、安定的な運行体制を確保するためには、新規車両と正規運転手の採用で対応（車両5両）

(2) 平成25年度における車両購入と運転手の新規採用

○ バス車両の購入 6両（大型ロングノンステップバス、乗車定員77人、標準車両より4人増）

- ・ ステップ2の予備車両1両とステップ3の5両の計6両購入

○ 正規運転手の採用

- ・ 運行計画に対応した人員を確保するため、正規職員を採用予定

(3) その他連携した取組み

○ 千鳥町地区における夕方ラッシュ時間帯の退社時対策（満員通過対策）

- ・ 現在、17時～19時の間に、川04系統市営埠頭発の増便（5便）を実施
- ・ 平成24年度内に、満員通過が発生する千鳥町地区の6停留所のうち、利用者が多い次の3停留所（駅方向）に、バス運行情報を表示する機能を整備（東電前、日本触媒前、JX日鉱日石エネルギー前）



臨海部の市バス路線の現状



塩浜営業所の現状
 車両数 99両
 運転手 192人

○京浜臨海部ライフノベーション
 国際戦略総合特区
 『KING SKYFRONT(殿町三丁目地区)』
 ○(仮称)産学公民連携研究センター
 供用開始(平成24年度～)

＜県営埋立線＞
 川03系統 川崎駅～四谷下町～浮島BT
 * 臨港バスと共同運行

＜埠頭線＞
 川04系統 川崎駅～市営埠頭

＜東扇島循環線＞
 川05系統 川崎駅～川崎マリエン前～東扇島東公園前
 川07系統 川崎駅～東扇島西公園前

○東扇島地区への企業進出による就業者数の増(平成26年2月 就業者数1,794人増)
 <企業の進出状況>
 平成25年2月 ㈱松岡(106人)
 平成25年5月 日本郵便(株)(520人)
 山手冷蔵(株)(60人)
 平成25年7月 日本郵便(株)(280人)
 ニチレイ(株)(181人)
 平成25年10月 松岡(株)(44人)
 平成26年1月 日本郵便(株)(570人)
 平成26年2月 ㈱マルハニチロ物流(33人)

＜渡田線＞
 川40系統 川崎駅～JFE前、水江町

＜水江町線＞
 川10系統 川崎駅～水江町

＜扇町線＞
 川13系統 川崎駅～扇町